

京都・兵庫・大阪

総選挙での日本共産党の躍進、野党連合政権樹立をめざし 19 日、国政報告・近畿比例リレー宣伝を京都、兵庫、大阪で行いました。

こくた・倉林・井上・たけやま氏ら訴え

京都、四条烏丸で行われた宣伝には雨の中およそ 80 人が聞き入り、YouTube での同時中継の視聴が 270 か所になりました。

こくた恵二国対委員長は菅首相が専門家の声を無視して五輪開催を強行しようとしていることを批判。命を軽んじる政治にノーの審判をと呼びかけました。

こくた氏は、政治を変えるには市民と野党の共闘しかないと強調。春の 3 つの国政選挙での野党全勝や、予算組み替え動議を共同提出したことをあげ、「野党は政権担当能力を示した。ここに新しい希望がある」と指摘。同時に、この流れを発展させるためには共産党を伸ばしてこそと強調しました。

たけやま彩子比例予定候補はコロナで仕事を失った 7 割が女性だと指摘。ジェンダー平等を綱領に掲げ、候補の半分を女性にする共産党を伸ばしてほしいと訴えました。

倉林明子副委員長は病床削減や高齢者医療費 2 倍化法の強行を厳しく批判。井上哲士参院議員は辺野古新基地建設や国民監視の土地利用規制法、河井元法相などの腐敗ぶりを批判、党躍進を訴えました。

ちさか拓晃、吉田幸一、山内健の各小選挙区候補も訴えました。



兵庫で清水、こむら氏、大阪で宮本、清水、西田氏が訴え

神戸・三宮では、清水ただし衆院議員とこむら潤予定候補、大阪・ヨドバシカメラ前では宮本たけし前衆院議員と清水氏、西田さえ子予定候補が訴えました。

宮本氏は、森友疑惑追及はこれから必ず国会に戻してと訴え。清水氏は、国会議員だけ夏休みでいいのかと国会閉会を批判、政治を変える展望を縦横に語りました。

こむら氏はコロナ対策や東京五輪の中止、ジェンダー平等などを、西田氏は、コロナ禍の大阪での事業者の苦境、消費税の減税などを訴えました。兵庫では現地 50 人、視聴 121 人、大阪は 1000 人が同時視聴しました。



奈良市政転換が必要 山下氏 市長・市議選勝利訴え



7 月 4 日告示の奈良市長・市議選が迫る中、山下よしき副委員長が近鉄奈良駅前と学園前駅前で訴えました。山下氏は、国政について訴えるとともに、奈良市が昨年度の当初予算にコロナ対策を一円も計上しなかったことや職員を削減してきたことを批判。暮らしを守るためには市政の転換が必要だと、谷川かずひろ市長予定候補と 7 人の党市議選予定候補への支援を訴えました。

7 月 4 日告示の奈良市長・市議選が迫る中、山下よしき副委員長が近鉄奈良駅前と学園前駅前で訴えました。山下氏は、国政について訴えるとともに、奈良市が昨年度の当初予算にコロナ対策を一円も計上しなかったことや職員を削減してきたことを批判。暮らしを守るためには市政の転換が必要だと、谷川かずひろ市長予定候補と 7 人の党市議選予定候補への支援を訴えました。

21 近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 34(2021.6.21)